

岩舟地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年11月20日（水）午後2時00分～2時30分

開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 11名

事例提供者1名、助言者7名、サービス事業者1名

包括職員2名、傍聴者0名

過疎地域で一人暮らしを続けている85歳女性
〈目標〉1日:規則正しい生活をする。(リズムよく、日課をこなす)
利用サービス：通所型独自サービス

《生活全般の解決すべき課題》

- ・ 体重減少に伴い義歯が合わなくなり、会話中に義歯が外れたり、良く噛めない状態となってしまった。
- ・ 独居のため、通所サービス以外での外出の機会や交流の場が必要となっている。

《助言者からの助言内容》

- ・ 自立歩行されているので、今の状態を維持するために運動を行うと良い。
- ・ 体重が減ると歯茎も痩せてしまうので、合わなくなってしまった義歯の調整が必要。
- ・ 食事の際は姿勢にも注意して欲しい。DSでの楽しい会話のためにも歯科受診を勧めて欲しい。
- ・ 服用間隔の長い薬剤はきちんと飲んでいるかを確認し、飲んでいない場合は注射での対応が可能な薬剤もある。
- ・ 近隣の住民に気を遣ってしまうようだが、繋がりは作っておいたほうが良い。
- ・ 昼食時に訪問することで、食事量や残している物がわかる。
- ・ 移動販売に来てもらい、地域の方々との交流ができる。
- ・ 過疎地域ほど住民間の繋がりが強いので「買い物支援サービス」に参加することで交流が生まれる。
- ・ 絵手紙の会や図書館などに、ボランティアの送迎も可能。



義歯を治し、会話や咬合力も回復することで、フレイル予防ができるよう支援していく。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・ 過疎地域に住む高齢者の買い物や通院などの移動手段の支援構築が必要。